

特定非営利活動法人 東海自然学園
2021年度 総会議案書

日時：2021年6月16日（水）13時00分
会場：神田荘

議事次第

- 1、開会
- 2、代表理事挨拶
- 3、議長選任
- 4、審議事項
 - 第1号議案 2020年度事業報告の件
 - 第2号議案 2020年度収支決算報告の件
 - 第3号議案 2021年度事業計画の件
 - 第4号議案 2021年度収支予算計画の件
 - 第5号事案 2021年度役員選任の件
- 5、質疑及び討論・採決
- 6、閉会

2020年度事業報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

【2020年度方針】

◎講座や活動の充実度を保ちながら、安全に活動できる新スタイルを築く

今年度は新型コロナウイルスの発生により、通常通りの講座や活動ができない状況にある。そんな中でも講座や活動の基盤を崩さず、皆の安全を最優先しながら新たなスタイルを築き、魅力を絶やさない講座や活動を継続する。

【2020年度取り組み】

- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大により異例の年となった。急激に変化する状況の中で、その都度理事・スタッフを開催し、基本となる方針やルールを作り、状況に応じて対応した。
- ◆ 8月の臨時理事会にて、安全を第一優先とし、1年間の全活動休止を決断した。
- ◆ 活動休止により赤字が確定。学園の運営を継続させるため、対象となる給付金などの情報を集め、「持続化給付金」「愛知県・市町村新型コロナウイルス感染症対策協力金」「家賃支援給付金」に申請し、給付金を得た。

① 自然活動リーダーの養成講座事業

東海シニア自然大学 講座部

■基礎科

- 4月、72名を第17期生として受付し、例年通り入学式を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染状況が悪化したため、講座開始を10月まで延期することを決定。
- 8月の時点で再度検討。10月に安心して講座ができる状況に回復している見込みがないため、4月まで（1年間）延期することを決定。
- 1年延期となったことで、7名が辞退もしくは18期生への変更をされたが、人数の補充をせず65名を第17期生とし、4月まで待機頂くこととなった。

■高等科

- 4月、30名が高等科に進学し、例年通り入学式を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染状況が悪化したため、講座開始を10月まで延期することを決定。
- 8月の時点で再度検討。10月に安心して講座ができる状況に回復している見込みがないため、4月まで（1年間）延期することを決定。
- 1年延期となったことで、2名増えて高等科32名が、4月まで待機頂くこととなった。

■専修科

- 年間9回の講座を予定していたが、1年間の活動休止となった。

広報

◇担当 スタッフ（5名）、サポート隊（3名）

◇実施内容

- 1年間の活動休止により、新規生募集のパンフレット作成なし。
- 新規生募集がないことと経費削減のため、元旦の中日新聞広告掲載なし。

- イオン・イエローシート活動は、店頭での声掛け活動が中止だったが、会員の皆様の協力があり、合計 12,800 円のギフトカードを頂き、コピー用紙などと引き換えた。

② 普及啓発事業

環境教育部

■環境教育科

- ◇担当 4名
- ◇科員 42名
- ◇目的

自然の仕組みや魅力、楽しさや大切さを伝える。

◇今年度の年間目標

- ・目標① 過去の作品やその作り方手順・必要な材料などを整理して残す。
- ・目標② 作り方指導だけではなく、素材そのものの説明や情報を伝える工夫をする。
- ・目標③ 当学園の広報に繋がる工夫を取り入れる。
- ・目標④ 新しい素材（ワタ・ヒマラヤスギなど）を使って、新しい作品を考える。
- 上記の目標を掲げ、新型コロナウイルスの感染防止策として、「午前の部」と「午後の部」を分けて活動することとし準備を進めたが、1年間の活動休止となった。

③ 調査研究事業

研究部

■自然観察科

レギュラーコース4年卒業制を導入し、「レギュラーコース（在籍4年以下）」と「キャリアコース（在籍5年以上）」に分割してそれぞれに運営。

レギュラーコース

- ◇実施日 第2・4月曜日
- ◇担当 3名
- ◇人数 36名
- ◇目標 お互いに学びあい知識を深める。

キャリアコース

- ◇実施日 第2・4月曜日
- ◇担当 1名
- ◇人数 27名
- ◇目標 お互いに学び合い知識を深める。

「キャリアコース」「レギュラーコース」ともに例年通り第2・4月曜日を定例活動日として活動予定だったが、今年度は活動休止。

④ 政策についての企画提案事業

事業部

■新規事業科

- ◇担当 4名
- ◇実施内容

1. 「オータケ記念愛知県自然環境保護基金」の助成金申請（環境教育科との協働）

■事業名：「自然素材を活かした環境教育活動による自然保護の普及、啓発活動」

- ①2019年度助成金：200,000円は環境教育事業で有効に活用し完了した。
- ②2020年度も150,000円の助成金が決定したが、コロナ禍での活動休止のため、全額を返納した。
- ③2021年度申請を2021年1月に実施、250,000円の助成金が決定した。

2. 「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の助成金申請
(森林公園整備科との協働)

■事業名：「生物多様性に配慮した森の整備活動」

- ①2020年度に初の申請を実施し957,200円の助成が決定したが、コロナ禍での活動休止のため全額を返納した。
- ②2021年度申請を2月に実施、784,000円の助成金が決定した。

3. 行政とのコンタクト

- ①愛知県環境部と「森と緑づくり交付金申請」について、面談での指導を受けた。

交流部

◇担当 4名

◇実施内容

●あらくさの発行

本来は高等科・基礎科の「編集委員会」メンバーの協力のもと記事を集め、編集している。今年は講座がなかったためケヤキ通信にて全会員へ呼びかけ、OBからも広く記事を募集し、皆様のご協力により例年通り年4回発行することができた。

●クラブについて

前年度(3/15)にクラブ長会議を開催し、新型コロナウイルスの感染防止に係る学園の方針やルールについて説明。検温・マスク着用・消毒・健康チェックシートの提出などにご理解いただいたが、1年間活動中止となった。

⑤自然環境保全事業

自然保護部

■森林公園整備科

- ◇活動日 ・第2・第4木曜日
- ◇科員数 ・33名
- ◇年間活動日 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い全活動日を中止
- ◇活動実績 ・A地区の森林整備活動を計画したが、同上の事情により活動実績無し。
- ◇活動内容 ・整備活動予定地の森林、整備地及び通路の状態を、5月28日、9月4日、1月20日の3回担当者で巡回し、大きな問題は無いことを確認。
- ◇来年度の課題 ・15か月のブランクがあり、整備地にも架かり木等の注意が必要な所があるので、先ず状態を確認し安全第一を徹底する。
・観察会の案内を外部及び森林整備科員に依頼し、回数を増やす。

■瀬戸里山整備科

- ◇担当 2名
- ◇登録者 26名 新たな登録者もあり楽しみにしていたが、今年度活動休止となった。

⑥その他目的を達成するために必要な事業

該当事業なし

<第2号議案> 2020年度収支決算報告

2020年度(第14期)活動計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人東海自然学園

科 目	金額(単位:円)		備考
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	130,000		年会費(26名*5千円)
利用会員受取会費	1,497,000	1,627,000	年会費(499名*3千円)
2 受取寄付金			
受取寄付金	383,430	383,430	あいおい損保(30万円)、個人
3 受取助成金			
受取助成金	250,000	250,000	オータケ記念基金
4 事業収益			
自然活動リーダー養成講座事業収益	0		
普及啓発事業収益	0		
調査研究事業収益	0		
政策についての企画提案事業収益	0		
自然環境保全事業収益	0		
その他目的達成するための事業収益	0	0	
5 その他収益			
受取利息	488	488	
経常収益計			2,260,918
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	3,618,600		
通勤手当	231,840		
法定福利費	604,039		
人件費計	4,454,479		
(2) その他経費			
講師謝礼金	0		
教材費	0		
会場費	14,800		
広報費	0		
リース代	0		
講師交通費	0		
スタッフ交通費	15,690		
消耗品費	113,180		
家賃	960,000		事務所家賃
接待交際費	0		
水道光熱費	78,412		
コピー機維持費	281,287		
保険料	353,484		NPO活動総合保険
通信運搬費	786,963		郵送費、通信費
諸会費	5,152		
雑費	0		
その他経費計	2,608,968		
事業費計		7,063,447	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	166,400		
退職給付費用	50,000		
人件費計	216,400		会計担当給与
(2) その他経費			
福利厚生費	18,169		
セキュリティ料	84,240		
旅費交通費	1,380		
事務用品費	4,064		
租税公課	1,200		印紙
支払手数料	69,195		税理士報酬等
雑費	33,000		
その他経費計	211,248		
管理費計		427,648	
経常費用計			7,491,095
当期経常増減額			△ 5,230,177
III 経常外収益			
協力金	500,000		コロナ対策
給付金	2,319,998		持続化給付金、家賃支援給付金
IV 経常外費用			0
当期正味財産増減額			△ 2,410,179
前期正味財産額			7,970,309
次期繰越財産額			5,560,130

2020年度(第14期)貸借対照表

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人東海自然学園

科 目	金 額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	17,167,017		
前払金	109,462		
流動資産合計		17,276,479	
資産合計			17,276,479
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	317,501		
前受金	10,590,000		
預り金	8,848		
流動負債合計		10,916,349	
2 固定負債			
退職給付引当金	800,000		
固定負債合計		800,000	
負債合計			11,716,349
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		7,970,309	
当期正味財産額		△ 2,410,179	
正味財産合計			5,560,130
負債及び正味財産合計			17,276,479

2020年度(第14期)財産目録

令和3年3月31日現在
特定非営利活動法人東海自然学園

科 目	金 額(単位:円)	金 額(単位:円)	金 額(単位:円)
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手元有高	192,644	
普通預金	三菱UFJ銀行植田支店	7,440,369	
普通預金	ゆうちょ銀行	7,529,700	
定期預金	三菱UFJ銀行植田支店	2,004,304	
前払金	次年度会場費等	109,462	
流動資産合計			17,276,479
資産合計			17,276,479
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3月分給与・社会保険料・交通費等	317,501	
前受金	次年度分受講料、年会費、助成金	10,590,000	
預り金	源泉所得税	8,848	
流動負債合計			10,916,349
2 固定負債			
退職給付引当金		800,000	
固定負債合計			800,000
負債合計			11,716,349
正味財産合計			5,560,130

2020年度(第14期)財務諸表の注記

特定非営利活動法人東海自然学園

1 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日、2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)による

2 事業費等の内訳


(金額単位:円)

科 目	自然活動リー ダー養成講座	普及啓発事 業	調査研究 事業	政策について の企画提案事 業	自然環境保 全事業	その他目的 達成するた めの事業	事業部門計	管理部部門	合計
(1) 人件費									
給料手当	2,894,880	434,232	36,186	217,116	36,186	0	3,618,600	166,400	3,785,000
通勤手当	185,472	27,821	2,318	13,910	2,318	0	231,840		231,840
法定福利費	483,231	72,485	6,040	36,242	6,040	0	604,039		604,039
退職給付費用							0	50,000	50,000
福利厚生費							0	18,169	18,169
人件費計	3,563,583	534,537	44,545	267,269	44,545	0	4,454,479	234,569	4,689,048
(2) その他の経費									
講師謝礼金							0		0
教材費							0		0
会場費							0	14,800	14,800
広報費							0		0
リース代							0		0
講師交通費							0		0
スタッフ交通費	15,690						15,690		15,690
活動交通費(バス)							0		0
消耗品費	113,180						113,180	4,064	117,244
諸会費	4,122	618	52	309	52		5,152		5,152
家賃	768,000	115,200	9,600	57,600	9,600		960,000		960,000
接待交際費	0	0	0	0	0		0		0
水道光熱費	62,730	9,409	784	4,705	784		78,412		78,412
コピー機維持費	225,030	33,754	2,813	16,877	2,813		281,287		281,287
保険料	282,787	42,418	3,535	21,209	3,535		353,484		353,484
通信運搬費	629,570	94,436	7,870	47,218	7,870		786,963		786,963
セキュリティ費用								84,240	84,240
交通費								1,380	1,380
租税公課								1,200	1,200
支払手数料								69,195	69,195
雑費	0	0	0	0	0		0	33,000	33,000
その他経費計	2,101,108	295,836	24,653	147,918	24,653	0	2,594,168	207,879	2,802,047
経常費用計	5,664,692	830,373	69,198	415,187	69,198	0	7,048,647	442,448	7,491,095
参考(配布率)	0.8000	0.1200	0.0100	0.0600	0.0100	0	1.00		

2021年6月10日

特定非営利活動法人東海自然学園

代表理事 横井 進 殿

監事 大熊 琢巳 

監査報告書

2020年4月1日から2021年3月31日までの、2020年度における業務執行並びに財産及び会計の状況について、特定非営利活動促進法の定めるところにより、同法第18条並びに定款第15条の定めによって監査を行いましたので、下記の通り監査結果を報告します。

記

事業報告・活動計算書・貸借対照表・財産目録及び会計諸帳簿類を精査した結果、経理処理・財産運用及び用途については、いずれも適正であり、業務については当初の目的を概ね達成できたことを認めました。

以上

2021年度事業計画

(2021年4月1日～2022年3月31日)

【2021年度方針】

◎新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、活動を再開する。

- 情報収集、敏速な判断と連絡、ルールづくりと工夫に力を入れ、新しいスタイルで新型コロナウイルス禍での活動を再開する。

◎昨年度1年間の活動休止による欠損の回復を意識した運営を行う。

- 経費の見直し、基礎科・高等科への入学者確保、新事業への挑戦など、科と科が力を合わせて取り組む。
- 会員・受講生にとって得るものがあり、且つ学園に収益をもたらす取り組みや企画に挑戦する。

① 自然活動リーダーの養成講座事業

東海シニア自然大学 講座部

■基礎科

- ・担当スタッフの連携を深め、連絡を密にし、充実した内容で安全に運営する。
- ・新型コロナウイルスの感染防止策を徹底する。
- ・新型コロナウイルスの感染状況に合わせて講師やスタッフ間で相談し、臨機応変に講座のスタイルや内容を変更し、工夫しながら実施する。(講座・委員会・行事等)
- ・進路説明のタイミングや方法を工夫し、高等科への進学率を高める。

◇担当 9名 (+アシスタント4名)

◇人数 全64名 (2クラス)

◇実施日 年間30日間 (隔週金曜日) ※状況により変更あり

◇計画内容

- ・年間カリキュラムの運営・進行・安全管理。
- ・各委員会の活動支援。
- ・振り返りなど受講生の評価を参考に、カリキュラムの改善や見直し。
- ・記録、報告書の作成。

■高等科

- ・担当スタッフの連携を深め、連絡を密にし、充実した内容で安全に運営する。
- ・新型コロナウイルスの感染防止策を徹底する。
- ・新型コロナウイルスの感染状況に合わせて講師やスタッフ間で相談し、臨機応変に講座のスタイルや内容を変更し、工夫しながら実施する。(講座・委員会・行事等)

◇担当 5名

◇人数 32名

◇実施日 火曜日 (不定期)

◇計画内容

- ・年間30日間のカリキュラムの実施。(状況により変更あり)
- ・学園祭に向けて、クラスの取り組みを支援するとともに基礎科への支援。
- ・各委員会の活動支援。
- ・振り返りなど受講生の評価を参考に、カリキュラムの改善や見直し。
- ・記録、報告書の作成。

■カリキュラム選択科

- ・今年度は、安全面で少人数での実施が望ましいため、選択科を募集しない。

■専修科

- ◇ 担当 2名
- ◇ 定員 21名
- ◇ 実施日 5講座 5日間（下半期のみ開催）
- ◇ 計画内容
 - ・新型コロナウイルス蔓延状況の推移を想定し、10月以降の下半期のみ実施する。
 - ・開催講座は例年の下半期開催の講座を予定する。
 - ・講座参加の機会に受講生間の親睦と情報交換の場を積極的に作る。
 - ・振り返りなど受講生の評価を参考に、カリキュラムの改善、見直しを行う。
 - ・遠距離のバス移動、昼食摂食等での新型コロナウイルス感染予防対策を講じる。

広報

- ◇ 担当 スタッフ（5名）、サポート隊（3名）
- ◇ 方針 積極的に新しい広報策を模索し実施する。
- ◇ 目標 他の科等との連携を強化し、定員72名確保を目指す。
- ◇ 具体的計画
 - ① 18期生募集パンフレット
 - ・設置場所の見直し・開拓をする。
 - ・募集パンフレットの発行数の検討・デザインの見直しを行う。
 - ② メディアに投稿・取材依頼等を積極的に行う。（新聞社・テレビ局等）
 - ③ イオン・イエローレシートのキャンペーン活動に参加する。
（店頭活動は新型コロナ感染リスクを鑑み、当分の間見合わせる。）
 - ④ 体験入学の実施。1回目＝5～7月、2回目＝1月中旬以降。
 - ⑤ ホームページの内容を随時更新する。
 - ⑥ サポート隊との連携を図る。
 - ⑦ 18期入学予定者への催事案内等は、新型コロナ・実施会場の状況等を勘案して行う。

② 普及啓発事業

環境教育部

■環境教育科

- ◇ 担当 3名
- ◇ 人数 39名
- ◇ 方針
 - 社会貢献することを目的とし、様々なインタープリテーション技術の取得、向上を目指す。
 - また、利益を追及する事業のみではなく、利益につながらなくとも自身の向上や社会貢献価値のある事業を実施する。
- ◇ 目的 自然の仕組みや魅力、楽しさや大切さを伝える。
- ◇ 今年度の目標
 - ・ 目標① 過去の作品やその作り方手順・必要な材料などを整理して残す。
 - ・ 目標② 作り方指導だけではなく、素材そのものの説明や情報を伝える工夫をする。
 - ・ 目標③ 当学園の広報に繋がる工夫を取り入れる。
 - ・ 目標④ 新しい素材（ワタ・ヒマラヤスギなど）を使って、新しい作品を考える。
- ◇ 計画内容
 - 毎月2回（第2、第4水曜日）の定例活動。
※しばらくは、『午前チーム』と『午後チーム』に分けて半分の人数で活動する。
 - 受託事業や地域の施設などでの出前教室など。

③ 調査研究事業

研究部

■自然観察科

自然観察と自然に関する座学テーマについて、自分自身の学習意欲を高め、(リーダーとして)社会貢献することを目的に、それぞれのコースにて学習・研究・実践を行う。

レギュラーコース

◇担当 3名

◇人数 31名

◇目標 お互いに学びあい知識を深める。

◇計画内容

●毎月、第2・第4月曜日を定例活動日とし、座学発表や野外での自然観察を行う。

●今年度は感染防止のため、公共交通機関で移動可能な場所をフィールドに選ぶ。

キャリアコース

◇実施日 第2・4月曜日

◇担当 1名

◇人数 30名

◇目標 お互いに学び合い知識を深める。自然観察科の目的である自分自身の学習意欲を高め社会貢献できるよう年間計画を立て、学習実践する。

◇計画内容

●毎月第2・4月曜日の定例活動(座学と野外実習)を行う。

●天白公園にて季節の自然観察会(下見含め)を実施する。(5月・7月は中止)

●基礎科の講座「冬の森観察」にて講師(観察指導)を務める。

④政策についての企画提案事業

事業部

■新規事業科

◇担当 3名

◇内容

1. 助成が決定している事業の計画的な進行

①「オータケ記念愛知県自然環境保護基金」(環境教育科との協働)

- ・環境教育科活動の器材調達 ・ガイドイヤホンの補充
- ・環境教育クラフト作品集の作成 などでの活用を推進する。
- ・次年度も継続申請を検討する。

②「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」(森林公園整備科との協働)

- ・森林公園整備活動での器材購入及び講習会などの運営費
- ・ガイドイヤホンの補充などで活用する。
- ・本事業は令和10年まで継続予定であり、次年度も継続申請を検討する。

2. 行政、外部組織とのコミュニケーション

- ・行政との積極的なコンタクト
- ・「環境デーなごや」にて積極的な広報や交流に努める。
- ・賛助会員制度の見直し～活用

3. 第2回 OBとの意見交換会の実施検討

- ・コロナの状況を見ながら、年度後半で検討。
(第1回:2018.9.18実施 参加者:35名(OB+SF))

交流部

◇担当 4名

◇年間目標

- OB会員の活性化、親睦を目的とした企画を考案し実施する。
- クラブが安全、健全に実施されるよう活動を把握し助言する。

◇実施内容

- OB旅行を企画実施する。(下半期、新型コロナウイルスの状況次第)
- クラブ長会議を開催する。
- 新たなクラブ設立を呼びかけ、クラブを増やす。
- 「あらくさ」を年間4回発行する。

◇各クラブの活動計画

※ 新型コロナウイルスの影響により、昨年度よりクラブ活動(集合)が一度も実施できなかったクラブもある。そのため年度計画も未定となっているクラブがある。

「野鳥クラブ」

●クラブ長 波多野 桂一(14期) 登録人員(26名) 会費1,000円/年

●活動方針

- 探鳥会を少なくとも4回開催する。
- 野鳥観察への興味を深めるため、座学を1回開催する。
- 秋の学園祭にクラブとして参加する。
- クラブ員同士の親睦を深める。

●活動内容

- 第1回 探鳥会 5月頃 海上の森
- 第2回 座学(野鳥講座) 8月頃 生涯学習センター
- 第3回 学園祭 11月頃
- 第4回 探鳥会 12月頃 名城公園(または庄内緑地公園)
- 第5回 探鳥会 1月頃 藤前干潟
- 第6回 探鳥会・総会 3月頃 勅使池

「写真クラブ」

●クラブ長 嶋田 茂雄(9期) 登録人員(41名) 会費1,000円

●活動方針

- 自然の景観・生物、これを取り巻く生活環境等を撮影し作品作りを楽しむ。
- 活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

●活動計画

- 例年、毎月1回の活動を計画・実行していたが、今年度の計画は未定。

「自然体験クラブ」

●クラブ長 服部 裕康(12期生) 登録人員(62名) 会費1,000円

●活動目的

自然の中で遊び・学び、自然への理解を深め、或いは歴史・文化に触れることを通じて、豊かな人間性、心のかよった人と人のつながりを創り、人と自然が共存する文化・社会の意識を高めることを図る。

●活動方針

- 様々な自然の中で遊び、自然を分かち合う。
- 野菜・山菜・木の実・魚介類等の自然の恵みに感謝する。
- 歴史・文化・自然に関する史跡・遺産等の訪問。
- その他目的を達成するための活動。

●計画内容

- 第3木曜日を基本の活動日として活動してきたが、今年度の計画は未定。

「地質クラブ」

●クラブ長 福岡 潔（8期生） 登録人員（94名） 会費 1,000円

●活動方針

- ・近隣の地質の成り立ちその影響を観察する。

●計画内容

4回の近隣の地質と地層を現地観察する。

新型コロナウイルスの影響で、観察場所と日時及び観察時間が変更となる場合がある。

- ・坂祝の木曾川「チャート Chert-この奥深き地層を究める-」
- ・瑞浪化石博物館と土岐川河畔の化石採集
- ・知多半島の岩石と化石観察
- ・東尋坊とその周囲の岩石観察

「植物クラブ」

●クラブ長 霜 桂子（15期生） 登録人員（79名） 会費 1,000円

●活動方針・目標

- ・植物の魅力と感動を共有
- ・東海シニア自然大学で学んだ植物好きな仲間が集まって、相互の親睦を図り、「中部・東海の植物の魅力と感動」を共有し、植物クラブの枠を超え多くの人に伝播して自然保護や保全に関心を持つ仲間の輪を広げていくことを目指す。

●活動計画

7回の観察会を実施予定。以下の活動計画案については新型コロナウイルス感染状況により検討や見直しを行い、感染防止対策を考慮して実施する。

- ・「海上の森観察会」（4/19）
 - ・「みたけの森観察会」（6/第2週）
 - ・「鳥居峠観察会」（9/初旬）
 - ・「明智の森観察会」（9/17）
 - ・「東山植物園観察会・総会」（3月）
- ※他2回 検討中

「植物アートクラブ」

●クラブ長 松崎 隆（13期生） 登録人員（15名） 会費 2,000円

●活動方針・目標

- ・植物を描くことにより、植物の観察力を高め、理解を深める。東海自然学園の卒業生らしい絵が描けるよう努力する。
- ・絵を描くことに基礎はありません。絵を描きたいという気持ちが基礎です。従って描いた絵の評価は自分自身でしか出来ません。完成した絵は、毎日見ているいろいろのことを考え、感じて楽しむことです。

●活動内容

- ・植物の特徴をとらえ、それを描くことにより表現の楽しさを知る。
- ・月毎の課題に沿って作品を仕上げる。
- ・全員の作品を鑑賞し、講師の講評・助言を通し作品の質を高め、また親睦を図る。
- ・学園祭において作品の展示を行う。

●活動計画

- ・日程 毎月第4木曜日
4/22、6/24、7/22、8/26、9/16、10/28、11/25、12/23、1/27、2/24、3/24
- ・主な活動場所「名古屋市福祉会館」

「自然句詠クラブ」

●クラブ長 深見 秋男（11期生） 登録人員（17名） 会費 1,000円

●活動方針・目標

- ・自然を愛（め）で、その感動を575（俳句）に表現し楽しむ。
- ・メンバー全員が何らかの役割を担い、クラブの運営に主体的に参画する。

●活動計画

- ・月1回(月末週)句を持ち寄り句会を実施する(お互いに評価し合う)
- ・句会実施日に終了後、希望者で反省懇親会を実施する。
- ・句会のうち年2回程度、吟行(現地に赴き作句し句会を実施)。
- ・句会に年2回ほど講師を招き指導を受けレベル向上をめざす。
- ・1年の纏めとして句集を編集する。

「湿地クラブ」

●クラブ長 小沢 球一(10期生) 登録人員(17名) 会費1,000円

●方針・目標

- ・観察会等を通して湿地に生息する動植物にふれあい会員の研鑽と親睦を図る

●活動計画

- ・7/23 葦毛湿原 ・7月一部未定 ・9/2 葦毛湿原 ・9/16 森林公園、吉賀池湿地
- ・12、1、2月 葦毛湿原植生回復サポート活動

「ハイキングクラブ」

●クラブ長 栗田 博之(13期生) 登録人員(55名) 会費1,000円

●活動方針

- ・自然観察及び散策、町の歴史探訪を通して自然や歴史にふれあい知識を高める。
- ・体力の維持及び増進。
- ・活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

●活動計画

- ・5/15(土) 東区文化の道散策(中止) ・12/4(土) 岡崎城と城下町ハイキング
- ・3/5(土) 碧南ハイキング

「プチ・トレッキングクラブ」

●クラブ長 鈴木 行薫(15期生) 登録人員(85名) 会費1,000円

●活動目標

- ・軽易なトレッキングを通して、自然に親しみ会員相互の研鑽と親睦を図る。

●活動計画(※予定変更の可能性あり)

- ・10月 中山道(馬籠～妻籠) ・12月 京都・大文字山
- ・1月 熊野古道 ・3月京都トレイル

⑤自然環境保全事業

自然保護部

■森林公園整備科

◇活動日 毎月第2・第4木曜日

◇科員数 30名

◇活動計画

- 安全
 - ・整備活動に15か月のブランクがあるので、安全マニュアルの読み合わせを基に、先ず安全第一を周知徹底する。
 - ・ヒヤリハット運動を展開する。
- 整備活動
 - ・A地区で植生調査結果に基づいた森林整備計画を作成し、整備計画に沿い、且つ修正しながら森林整備を実施する。
 - ・班単位で整備地内の植生を観察
 - ・植生調査を行い、その成果を学園祭で参加、発表する
 - ・科員の交流と親睦を深める
 - ・高等科の講座実習を受け入れる

■瀬戸里山整備科

年間計画をリーダーを中心として作成し、竹林部分、雑木林部分の作業日を意識して設定し実施する。急斜面の作業が多いため、安全作業を最優先としていく。

◇担当 2名

◇登録人数 20名

◇実施日 第3土曜日、但し雨天の場合は、予備日第4土曜日

◇活動場所 瀬戸市曾野町

◇活動内容

- ① 安全作業を最優先し、事故のない1年を目標とする
- ② マニュアルの読み合わせ、ヒヤリハットの作業前後の徹底
- ③ 竹林ではタケの年度別表示を継続、雑木の除伐を行なう。
- ④ 科員増員の広報活動を行なう・・・ケヤキに投稿・タケノコ堀・門松づくり
- ⑤ 学園祭(係)委員を任命し、参加を全体の課題とする
- ⑥ 定点観測を継続し、作業の進捗状況、整備後の成果を行なう
- ⑦ 懇親会を実施し科員の交流を深める

※新型コロナウイルス感染拡大防止に関する学園のお願いの遵守

⑥その他目標を達成するために必要な事業

該当事業計画なし

〈第4号議案〉

2021年度収支予算計画

2021年度活動予算書
(2021年4月1日から2022年3月31日)

(単位:円)

科目	金額		備考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	130,000		
利用会員受取会費	1,386,000	1,516,000	正会員 26名 利用会員462名
2. 受取寄付金			
受け取り寄付金	200,000	200,000	
3. 受取助成金収入			
受け取り助成金	784,000	784,000	
4. 事業収入			
自然活動リーダー養成講座事業収益	8,633,000		受講料
普及啓発事業収益	0	200,000	
調査研究事業収益	0		
政策についての企画提案事業収益	0		
自然活環境保全事業収益	0		
その他事業収益		8,633,000	
5. その他収益			
雑収入	0		
受取利息	0	0	
経常収益計			11,333,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	3,618,000		
通勤手当	232,000		
法定福利費	604,000		
人件費計	4,454,000		
(2) その他経費			
謝礼金	1,520,000		
教材費	190,000		
会場費	440,000		
広報費	200,000		
リーフレット代	265,000		
講師交通費	90,000		
スタッフ交通費	1,700,000		
バス代	0		
消耗品費	1,188,000		
雑費	0		
家賃	960,000		事務所家賃
接待交際費	10,000		
水道光熱費	100,000		
コピー維持費	100,000		
保険料	400,000		NPO活動保険
通信運搬費	700,000		郵送料、通信費
諸会費	0		
研修費	0		
その他経費計	7,863,000		
事業費計		12,317,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	180,000		会計担当給与
退職給付費用	50,000		
福利厚生費	15,000		
人件費計	245,000		
(2) その他の経費			
セキュリティ料	100,000		
事務用品費	10,000		
租税公課	50,000		
支払手数料	85,000		税理士報酬等
雑費	10,000		
その他経費計	255,000		
管理費計		500,000	
経常費用計			12,817,000
当期経常増減額			▲ 1,484,000
III 経常外収益			0
IV 経常外費用			0
当期正味財産増減額			▲ 1,484,000
前期繰越正味財産額			5,559,960
次期繰越正味財産額			4,075,960

<第5号議案>

2021年度役員選任

2021年度の役員として下記の方を選任致します。

- ・ 代表理事 横井 進
- ・ 筆頭理事 伊藤 準二
- ・ 理事 上田 元己
- ・ 理事 吉村 至衛
- ・ 理事 朝田 泰
- ・ 理事 福岡 潔
- ・ 理事 吉田 誠司
- ・ 理事 森下 保男
- ・ 理事 胡内 友文
- ・ 理事 中野 治男
- ・ 理事 鈴木 好則
- ・ 理事 中川 員
- ・ 監事 小田 光生

その他報告事項

上記役員以外の2021年度正会員

- ◆ 高島 裕美子 (9期生)
- ◆ 岩田 敏子 (11期生)
- ◆ 吉川 卷子 (11期生)
- ◆ 雑賀 典子 (11期生)
- ◆ 堀部 和裕 (12期生)
- ◆ 森 静枝 (12期生)
- ◆ 林 昌子 (13期生)
- ◆ 伊豆原 英子 (14期生)
- ◆ 祖父江 洋子 (14期生)
- ◆ 波多野 桂一 (14期生)
- ◆ 霜 桂子 (15期生)
- ◆ 古田 利夫 (15期生)